



## 松田わくわくお買い物券(町内店舗利用券)

1万円



見本

発行総額3,600万円  
3,000冊発行

×24枚

2,000円(20%)分上乗せ!

# 1万2,000円分!

松田町内で利用可能な「松田わくわくお買い物券」を今年も発行します。  
プレミアム分(上乗せ分)は昨年の1,000円(10%)から倍増し、2,000円(20%)となり、昨年よりもさらにお得になりました!

販売価格: 1冊1万円(500円券×24枚綴り、上乗せ分2,000円)

有効期間: 平成27年6月28日(日)~12月27日(日)

販売対象者: 松田町在住・在勤・在学の平成28年3月31日時点で16歳以上の方

販売制限数: 1人あたり5冊まで

## あしれんプレミアム商品券(1市4町全店舗共通券) (足柄上地区連携振興券)

発行総額3,600万円 3,000冊発行(松田町分)

今年は松田わくわくお買い物券のほかに、南足柄市・大井町・松田町・山北町・開成町の1市4町では、足柄上地区における消費需要を喚起するとともに地域経済の活性化を図るため、国の地方創生交付金を活用し、足柄上地区商工会連絡協議会(南足柄市商工会・足柄上商工会・山北町商工会)と連携して、1市4町で利用可能な広域型プレミアム付商品券も発行します。

販売価格: 1冊1万円(1,000円券×12枚綴り、上乗せ分2,000円)

有効期間: 平成27年6月28日(日)~10月31日(土)

販売対象者: 松田町在住・在勤の平成28年3月31日時点で16歳以上の方

販売制限数: 1人あたり5冊まで

1万円! **1,000円券** × 12枚 **1万2,000円分**  
(2,000円分お得!)

売り切れ次第  
販売終了

# プレミアム分20% 昨年より倍増!

6月28日(日)  
販売開始!

昨年引き続き、今年もお得な商品券が販売されます。  
しかも今年は、昨年も大好評をいただいた松田町内で使用できる『松田わくわくお買い物券』に加え、南足柄市・大井町・松田町・山北町・開成町の1市4町で使える広域型プレミアム付商品券『あしれんプレミアム商品券』が販売されます。  
【問い合わせ】足柄上商工会 ☎(83)3211

松田わくわくお買い物券  
あしれんプレミアム商品券

### 共通事項

販売場所: 先行販売(6月28日(日))

- ・町民文化センター2階ホワイエ(午前10時~午後5時)
- ・寄自然休養村管理センター(午前10時~正午)

※通常販売時(6月29日(月)以降)の販売場所や販売方法については、6月15日発行のおしらせ号でお知らせします

- 注意事項:
- ・商品券販売の際、**身分証を確認させていただきます**(運転免許証や社員証、学生証など)。
  - ・販売は本人のみとし、代理人の購入はできません。また、現金での購入のみとします。
  - ・**1人あたり**の販売制限数は、「松田わくわくお買い物券」と「あしれんプレミアム商品券」が各5冊ずつまでとなります。(最大: 1人×5冊×2種類=10冊(12万円分))
  - ・売切れ次第終了となりますので、お早めにご購入ください。
  - ・商品券取扱店舗の詳細はチラシやホームページなどでお知らせします。
  - ・商品券は釣銭が支払われませんので、現金と併用してご使用ください。
  - ・有効期間を過ぎた商品券は使用できません。また、払い戻しもできません。
  - ・汚損や破損が著しい商品券は使用できないことがあります。
  - ・商品券の盗難や紛失、滅失があっても再発行はできません。
  - ・商品券は次のものには使用できません。
    - (1) 換金性の高い商品(商品券、ビール券、切手、印紙、プリペイドカードほか)
    - (2) 出資や債務の支払い
    - (3) 土地および家屋購入または不動産賃貸料などの支払い
    - (4) 公共料金の支払い

叙勲

中村 善成氏 (沢尻自治会)
旭日単光賞と受章



氏 善成 中村

平成12年4月、松田町選挙管理委員会委員に任命されました。以来、平成24年3月までの間、3期12年の永きにわたり在職し、特に、同期間、松田町選挙管理委員会委員長として公平公正な選挙の実現に寄与されました。

また、民主政治における選挙制度の重要性をよく認識され、全国的な若者の投票率の低下、政治離れを危惧し、松田町明るい選挙推進協議会の一員として、明るく正しい選挙の実現と、投票参加のための呼びかけなどの啓発運動を積極的に行うなど、選挙の大切さを訴え続け、常に地方自治と国政の発展のために尽力されました。

輝け!

まつだの一番星 ②

テニスを始めたのは3歳の頃、テニス好きの父親の影響が大きかったとのこと。

中学3年生となった今でも、平日は、放課後になると茅ヶ崎市にあるテニスのクラブチームに通っています。クラブのお休みの日である月曜日以外はここで午後5時から8時30分まで毎日練習しています。



インタビューに答える日置君。

土日は、午前5時頃に起床し、クラブチームへ向かいます。練習時間は平日よりも多

Tが行く! ④ ~1歳児歯科指導教室の巻~



歯科衛生士による講習会の様子。

今回は、その歯科指導教室に行ってきた健康福祉センターを訪れると、元気なお子さんたちの声が聞こえてきました。お座りしてお

このコーナーでは町で行っている事業を広報担当者のTが体験し取材してきます。今回は「1歳児歯科指導教室」取材してきます。

お子さんの歯は、早い子では生後6ヶ月頃から生えてきます。この時期に生える歯は乳歯といい、将来的に乳歯は抜けて、永久歯が生えてきます。しかし、だからと言って十分な歯磨きをせず、虫歯になってしまうはいけません。虫歯になるとお子さんの食欲減退などにつながり、成長などに悪影響を及ぼすからです。さて、町では歯が生えてきたお子さんとその保護者を対象に、1歳児歯科指導教室を開催しています。今回は、その歯科指導教室に行ってきたお

話をしたり、ハイハイをしたり、1歳を過ぎた活発なお子さんが多くいました。歯科指導教室では、歯科衛生士が、歯に関する講習会と歯の磨き方の実技指導を行います。歯に関する講習会では、プロジェクトを使った講習が行われます。お子さんにとって、歯を守ることで、いかに大切な事であるかや、歯が生えたばかりなのに、ジュースやお菓子を食べることによって、すでに虫歯になってしまっているお子さんの話など歯科衛生士の話に、保護者の方々は熱心に聞き入っていました。



歯科衛生士による歯磨きの指導。

歯科衛生士が「こういった場面で大人が毅然とした態度をとらないといけません。泣いてしまってもやらないといけないことはやる。そうしないと、いつまで経っても歯を磨くことはできません。虫歯になってしまつてからでは遅いのです。」とおっしゃっていました。

今回の歯科指導教室に参加したお子さんの中にも、虫歯の兆候があるお子さんがいたように、歯の磨き方などを歯科衛生士が、丁寧に保護者の方に指導していました。

歯磨きの実技指導後には、保健師や栄養士による相談を行っており、お子さんの成長や食事に関する相談なども受け付けていました。また、歯磨きを頑張ったお子さんには、手作りおやつが用意されており、「これを食べたらまた歯磨きをしようね。」とお子さんに話しかけている

保護者の言葉が印象的でした。

事業概要



歯磨きの後は、ご褒美の手作りおやつ。

この事業は原則として4ヶ月に1回、健康福祉センターで行っていただきます。対象者は、生後1歳〜1歳3ヶ月のお子さんとその保護者で、対象となる方には事前にご案内をします。予約は不要となっておりますので、お子さんに歯が生え始めた方や、歯磨きの実技指導を受けたい方などのご参加をお待ちしています。

【問い合わせ】健康福祉センター ☎(84)1195 子育て健康課 健康づくり係 ☎(84)5544

このコーナーでは、町の未来を担う子どもたちの活動を取り上げます。今回は松田中学校で活躍している日置和暉(ひおきかずき)さんを紹介し

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222

く、午前7時から午後8時30分まで朝昼晩とテニス漬けの一日となっています。これからの目標を伺うと、中学生である間にジュニア部門で全国大会に出場することを掲げました。上位クラスとなると、技術の差ではなく、精神面が大きな鍵を握るので、精神的にもっとタフになり、全国大会出場を果たしたいと力強く語ってくれました。

は生徒会長として、テニスコートではテニスプレーヤーとして、常に全力で臨んでいます。

多忙な日々を送っている日置君は、中学校で生徒会長を務めています。テニスと生徒会の両立について、「何事にも全力投球で臨むことが大事で、中途半端だとダメになる」と考え、学校で

でも、生徒会の仕事とテニスの練習が重なる時もあります。その時は、生徒会を優先するようにしていますが、なるべく重ならないように、会議を昼休みに行うなど、周りの生徒会メンバーが支えてくれていることに、とても感謝していました。

生徒会長としての目標は、もうすぐ実施する『ちょこつとボランティア』を成功させることを掲げました。これは、黒板をキレイにしたり、ロッカーをキレイ

にしたりと、少しの心遣いを持つことで、松田中学校生徒の自主性を高めることを目標としています。

日置君は高校に行ってもテニスを続けるそうです。彼の見据える先には、全国大会、プロテニスプレーヤー。そして世界の大舞台と大きく広がっています。近い未来、世界が、松田出身のテニスプレーヤーのプレーに、酔いしれるかもしれません。



試合中の日置君。

広告

秦野コンシェル TEL. 0463-87-0817
家事代行 キッズシッター 介護支援 産前産後
ご家庭内の日常行う家事(掃除、洗濯、料理、他雑用)をお客様に代わってサービスします
1~12歳までのお子様のご家庭内での見守りサービス。学童保育や塾などへの送迎も致します。
ご家庭内の介護業務の支援サービス(介護保険対象外)
出産前や出産後のママをお手伝いするサービス
料金(税別) 基本プラン 1時間1800円+出張費1000円

### 平成27年度の環境美化推進委員26人決まる

(新)は新任 4月1日現在(敬称略)

自治会名	氏名	自治会名	氏名
町屋	加藤 亘	宮前	柴田 好子
店屋場	大津 保	かなん沢	草野 英幸
神山	佐々木一人 (新)	中里	伊世井和代 (新)
茶屋	鍵和田 満	城山	平原 有郎 (新)
河内	山口 弘行	仲町屋	井上 敏行 (新)
中丸	押尾 善則	萱沼	安藤 稔治
中央	中村 敏男	弥勒寺	西館今朝男
仲町	佐藤 英三	中山	石井 清子 (新)
新松田	岡田 忠久	土佐原	岡部 一夫
谷戸	永田 和男	宇津茂	野口 明
中沢	北村 正秋	大寺宮地	菊地 菊夫 (新)
沢尻	北村 義治	虫沢田代	井上 秀樹 (新)
谷津	小嶋 徹	湯の沢	小野 典子 (新)

地域が一体となって取り組む美化活動と住みよい環境づくり。各地区の平成27年度環境美化推進委員26人(うち新任8人)が決まり、4月から活動されています。

環境美化推進委員は、環境にやさしいごみの減量やリサイクル、環境美化の啓発など、快適な生活環境づくりを総合的に推進していきます。

【問い合わせ】環境上下水道課 環境係 ☎(83)1227



地域サロンオープンに向け準備中。皆様のご利用をお待ちしています。

### 6月2日(火)「お休み処

### 新松田」(地域サロン)ははじめます!

桜まつりの期間中、ロマンス通り商店街の一角に「お休み処」が毎年開設されているのをご存じでしたか。この度、高齢者を主体に、年齢、障害を問わず地域の皆さんが誰でも立ち寄ることのできる居場所として「お休み処 新松田」が6月2日からオープンします。

居場所とは地域に住む多世代の人々が自由に参加する場所です。居場所では、そこにいる人との交わりによつて生きる意欲が高まり、それぞれの関係の中から共感が生まれ、それが

様々な助け合いに発展することを目指して全国各地で、多様な形態で運営されています。

「お休み処 新松田」は、新松田自治会の協力を得て、地域の皆さんで場所の管理・運営を行い、町や関係機関も協働して活動を展開していきます。地域の皆さんの作品展示のほか、障害者の皆さんの作品展示等も順次行っていく予定です。ぜひお立ち寄りください。

原則、平日の午前、午後の開所になりますが、ご自身のスタイルでお過ごしください。

【問い合わせ】福祉課 高齢介護係 ☎(83)1226

発令内容	町民の皆様をお願いする行動
自主避難	1. 自主避難を希望される方は、安全防災担当室まで連絡ください。 2. 必要に応じて地域集会施設などに避難してください。 3. 避難する場合、非常食や生活用品をご自身で用意してください。
避難準備情報 (土砂災害) (はん濫注意水位)	1. 災害時避難行動要配慮者の方は支援者とともに、指定された避難所へ早めの避難行動を開始してください。 2. 上記以外の方は家族等との連絡、避難中の食事・飲み物・非常時持ち出し品の用意など、避難準備を開始してください。 3. 避難するかしないかをご自分の意思で決定してください。
避難勧告 (土砂災害) (避難判断水位)	1. 通常の避難ができる方についても、避難を始めてください。 2. 避難する場合、非常食や生活用品をご自身で用意してください(身分証明書・献血手帳があれば携帯してください)。 3. 避難するかしないかをご自分の意思で決定してください。
避難指示 (土砂災害) (はん濫危険水位)	1. 避難勧告などの発令後で避難中の方は、確実に避難を完了してください。 2. いまだ避難していない方は、直ちに避難行動に移るとともに、その余裕がない場合は生命を守る最低限の行動として2階への避難や近所の高い建物に避難をしてください。

【問い合わせ】総務課安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540

### 第1回 水害・土砂災害のときは身の安全を確保しましょう。

こちらの安全防災担当室

毎年5月5日はこどもの日。今年も寄自然休養村管理センターで『若葉まつり』を開催し、約8500人という、昨年より約1000人も多くの皆様に楽しんで頂きました。本年も、ふるさと大使の北川大介さんが祭りを盛り上げてくださり、また、大使としての名刺をお渡しし、松田町をさらにPRして頂けるようにお願いした次第です。

さて、松田町は、古くから交通の要衝として栄えて来た町(栄えて来た分、様々な地元素材が実っている町)。

私は、松田町の先人が大切にしていた地元素材を「温故知新」の思いで、輝かせたいと考えています。本年で建立1700年を迎えた寒田神社や寄神社、神山神社、松田大行列などの町の歴史や文化、地場産品のみかんやお茶やゴボウなどの根菜類などはもとより、地域素材として、最明寺史跡公園や松田山の桜、寄のロウバイなどもあります。最近では、ふるさと大使の北川大介さんや山崎一さん人も素材ですし、寄さくらマスなども同様に町を輝かせるための新しい素材です。

ただ、すばらしい素材もそれを活かす人によつて変わって来ます。

料理で例えたら、同じ素材でも和食・洋食・中華料理などによつても活かし方は違いますし、料理人の腕次第で事もあろうでしょう。

これからの時代は、情報ネットワークを活用するなど、ニーズに合った地元素材の活用の仕方考えなくてはなりません。その為には、その素材(物)を活かす料理人(町民)が必要となります。

地方創生に一番大切なのは、松田町の地元素材を活かす事と考えています。公が何をやるのではなく、自らが何をやるのかを考え実行する事が大切だと思います。「協働と挑戦」を掲げる私としては、地元素材を活かした協働意識を高める事で、自らが挑戦する「キツカケ」を創り、「主人公」である町民一人一人が輝く町になるよう推進して参りますので、今後とも御協力願います。

### 風 くみかぜく

松田町長 本山博幸

『まつだの素材』

毎年5月5日はこどもの日。今年も寄自然休養村管理センターで『若葉まつり』を開催し、約8500人という、昨年より約1000人も多くの皆様に楽しんで頂きました。本年も、ふるさと大使の北川大介さんが祭りを盛り上げてくださり、また、大使としての名刺をお渡しし、松田町をさらにPRして頂けるようにお願いした次第です。

さて、松田町は、古くから交通の要衝として栄えて来た町(栄えて来た分、様々な地元素材が実っている町)。

私は、松田町の先人が大切にしていた地元素材を「温故知新」の思いで、輝かせたいと考えています。本年で建立1700年を迎えた寒田神社や寄神社、神山神社、松田大行列などの町の歴史や文化、地場産品のみかんやお茶やゴボウなどの根菜類などはもとより、地域素材として、最明寺史跡公園や松田山の桜、寄のロウバイなどもあります。最近では、ふるさと大使の北川大介さんや山崎一さん人も素材ですし、寄さくらマスなども同様に町を輝かせるための新しい素材です。

ただ、すばらしい素材もそれを活かす人によつて変わって来ます。

料理で例えたら、同じ素材でも和食・洋食・中華料理などによつても活かし方は違いますし、料理人の腕次第で事もあろうでしょう。

これからの時代は、情報ネットワークを活用するなど、ニーズに合った地元素材の活用の仕方考えなくてはなりません。その為には、その素材(物)を活かす料理人(町民)が必要となります。

地方創生に一番大切なのは、松田町の地元素材を活かす事と考えています。公が何をやるのではなく、自らが何をやるのかを考え実行する事が大切だと思います。「協働と挑戦」を掲げる私としては、地元素材を活かした協働意識を高める事で、自らが挑戦する「キツカケ」を創り、「主人公」である町民一人一人が輝く町になるよう推進して参りますので、今後とも御協力願います。

○地元の素材を活かす考え方(自論)

物を作るのは足し算積み重ねて新しい物を作る・引き算(既存の物から、ニーズに合わせて機能を外し、シンプルな物を作る)。

物を作るのは掛け算(物に情報を掛け合わせて顧客の裾野を広げる・割り算(売り上げの伸び率などのデータ管理)。



# 松田町・寄村合併60周年記念事業

## 温故知新による協働のまちづくりを！

今年、旧の松田町と寄村が合併（昭和30年4月1日）し、現在の町域となつてから60周年となる記念すべき年です。

この記念すべき年を、松田、寄という地域の枠を超えて、オール松田で町を盛り上げていくための事業を展開していきますので、お知らせします。

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83)12222

### ●昭和の大合併

#### 紆余曲折を経たスタートでした

戦後の復興を遂げつつある昭和28年、小規模な町村の合併を強力に推し進めるために「町村合併促進法」が施行されました。国が主導したこの大きな流れの中で、松田町は現在の大井町（金田村、相和村）と、寄村は現在の秦野市（北秦野村、上秦野村、西秦野村）などと合併の可能性を探りましたが、さまざまな事情や町村の意思のズレから、これらの話は立ち消えてしまいました。しかし、このような模索の過程において、一度、松田町と寄村は合併を検討していた経緯があったことから急速に協議が進み、昭和30年4月1日、松田町と寄村は合併し、現



合併後の町役場庁舎前

在の町域となる新制松田町が誕生しました。

神奈川新聞では「新発足する松田町は10時より松田小学校講堂にて開庁式と祝賀会を催し、松田・寄の2か所で余興として演芸大会が行われた」と当時の祝いの旗行列も行われた」と当時のお祝いムードや「人口は10358人、1971戸」と記事に残っています。

### ●人口減少という課題に

#### 地域の枠を超えて！オール松田で！

松田地域と寄地域は山間部を挟み、距離的に離れていますが、合併以来、共にそれぞれの地域の特性を生かし、松田町の振興・発展に取り組んできました。

一方で、町全体としての人口は、平成7年の13270人をピークに減少傾向が続いています。本年4月には11239人に、そして、平成30年には10800人という単純な推計値もあります。このような危機的な状況は、東京などの大都市圏を除き、全国的に見られますが、比較的都市圏に近接する当町においても大きな課題となっています。

そこで、町ではこの課題の解決に向けて、「地方創生」に取り組んでいきます。その一環として、この記念すべき合併60周年を迎えた本町において、地域の絆を今一度確認し、「郷土愛」を醸成するさまざまな事業・イベントを企画することとしました。事業の実施にあたって

は、大きく二つのコンセプトを設定して取り組んでいくこととします。

### ●「温故知新」→「協働」→「郷土愛」

一つ目のコンセプトは、各種の事業へ町民の皆さんに参加していただくことです。松田町の歴史や財産を念頭に、様々な事業に多くの方が参加することで協働が実践され、その協働の中から郷土愛が育まれ、定住化が促進されることを目指します。

### ●「町のPR」→「人口増」→「松田創生」

二つ目は、町の魅力を町外に広く発信

することです。各種のイベントなどで松田町の魅力を対外的に発信することで、来町者（＝交流人口）の増加を促し、ひいては定住人口の増加、そして松田創生を目指すものです。

このようなコンセプトに基づき、各種のイベントなどについては、記念事業の趣旨に沿って新規事業や既存イベントを一工夫していきます。

現在、内容を調整中のものもあります。その一部は左囲みのおりとなりです。詳細については、今後、本紙やおしらせ号などでご案内していく予定です。皆さんふるってご参加ください。

### 記念式典は観光まつりで！花火大会はグレードアップ！

8/22(土) 予定

記念式典を「まつだ観光まつり」で検討中です。また、一緒に60周年を迎えた開成町と合同で「あしがら花火大会」が例年より豪華絢爛に！？



### 敬老会は、あの歌手の特別記念コンサートが！

9/27(日) 予定

今年、敬老の日でなく、27日に開催します。また、ふるさと大使の北川大介さんの特別記念コンサートを企画中です（今年限り）。



### 今年も！NHKの公開録画を誘致します！

2/7(日)

昨年、好評を博した公開録画ですが、今年、記念事業として「民謡魂ふるさとの唄」が松田にやってきます。

来年2月に公開録画を行う「民謡魂ふるさとの唄」。



### 広告

#### 電話無料相談を実施中！

0120-918-862

受付 平日9:00～17:30

時間 30分間

「分かりやすく、ご説明いたします」

マイタウン法律事務所

二俣川事務所 青葉台事務所  
横浜弁護士会所属 金沢文庫事務所 茅ヶ崎事務所

弁護士 戸谷彰吾



期限まで1年半余り  
昭和23（63年）までの集団予防接種によってB型肝炎ウイルスに感染した方、その方から母子感染した方、これらの方が亡くなつていく場合の相続人は、政府から最大三六〇〇万円の給付金を受けられる可能性があります。但し、請求期限は平成29年1月12日まで。早めの準備が必要です。  
当事務所では電話での無料相談を行っています。予防接種による感染が不明でも構いません。血液検査などの資料がなくても大丈夫。まずは、気軽にお電話ください。

## B型肝炎 給付金

# 皆さんに愛され続けて55年、広報まつだは600号を迎えました

## 広報まつだ600号

昭和35年1月に「町だより」として、産声を上げた広報まつだは、今月で600号目の発行となりました。

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83)12222

### 広報紙の歴史

昭和35年1月11日に発行された第1号の広報紙は、活版印刷で1色刷(白黒)、4ページで構成されており、紙面の大きさは現在と同じ(タブロイド版)でした。

内容は当時の松田町長であった鍵和田一二町長による年頭の挨拶や、成人式のお知らせ、国民年金制度の創設についてのお知らせなどが掲載されていました。

当初、広報紙は年3回の発行でしたが、42号(昭和44年



記念すべき第1号の広報紙。この当時の人口は1万293人でした。

4月)から、現在と同じ毎月発行となりました。

### 名称の変遷

「町だより」として発行されていた広報紙でしたが、その名称も3号(昭和35年11月)から「広報松田」、141号(昭和52年4月)から現在と同じ「広報まつだ」として皆さんのお手元へ届けられています。

### 紙面の変遷

現在の町広報紙の紙面の大きさは、昭和35年に発行された1号と同様のタブロイド版です。



広報松田100号(昭和49年2月)

### 昭和35年の松田町

#### コラム

河内新道の開通式の様子(昭和35年5月)



広報紙の1号が発行されたのが昭和35年。その頃は、六夜祭(現:まつだ観光まつり)で3000人規模の大盆踊り大会が行われたことや、松田山のみかん狩りと連携して、小田急新松田駅にみかんの即売所を開いたり、小田急電鉄もみかん狩り特別列車を運行したりするなど、現在と同じように、町民・企業・行政が一丸となって町を盛り上げていました。

しかし、町広報紙は1号から現在までずっとタブロイド版だったのではなく、26号(昭和41年9月)から140号(昭和52年3月)まではB5サイズで広報紙を発行していました。

また、1号の広報では、文字だけで構成されていました。11号(昭和38年11月)に掲載されている議員紹介で初めて写真が使われ、111号(昭和50年1月)で、町上空からの写真が、初めてカラー写真として掲載されました。

### 広報まつだができるまで

広報まつだは、毎月1日に行われる広報編集会議(町長以下8人で構成)にて、翌月号の広報に掲載する内容が決



広報まつだ400号(平成10年10月)



広報まつだ300号(平成2年7月)



広報まつだ200号(昭和57年3月)

### これからの広報紙

今月号で600号を迎えた広報まつだは、引き続き、皆さんに情報発信を行い、800号、1000号と歴史を綴っていきます。また、ホームページや、本紙3月号でお知らせした「i広報紙」のように、紙ではなく、パソコンやスマートフォンなどで見ることができるようになりました。これからの時代にも即した。これからも時代即した、様々な形で、皆さんのお手元にお届けします。

毎月締め切りに追われる編集作業ですが、毎月、5000部もの広報紙を配付してくださる自治会の方々の存在や、取材時などに皆さんからいただけるご意見・ご感想が励みになります。地域の話やご意見・ご感想などをぜひ、お寄せください。



広報まつだ500号(平成19年2月)

#### コラム

### ご存じでしたか? こんなコーナー

その月に起こった出来事を写真でお伝えするコーナー。現在もカメラリポートとして継続中。101号(昭和49年3月)初掲載。

### フォトニュース



### 我家の赤ちゃん



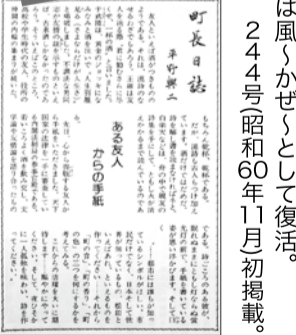
町内の赤ちゃんを紹介するコーナー。194号(昭和56年9月)初掲載。

### 保健婦だより



町保健師によるコラム。暑い夏の過ごし方など生活に関するアドバイス掲載。214号(昭和58年5月)初掲載。

### 町長日誌



松田町長によるコラム。現在は風がやせるとして復活。244号(昭和60年11月)初掲載。

### さわやか君



広報まつだに掲載されていた4コマ漫画。229号(昭和59年8月)初掲載。

### ふるさとへのたより



町にゆかりのある人を紹介するコーナー。現在は我ら松田人として連載中。252号(昭和61年7月)初掲載。

### 集まれ!我らサークル仲間



町内のサークル団体を紹介するコーナー。452号(平成15年2月)初掲載。

### Tが行く!



広報担当者Tが現場に行き、取材するコーナー。596号(平成27年2月)初掲載。

# 学びの広場

## 教育委員会委員嘱託委員

自治会長などからご推薦をいただき、地域で活躍されている委員の方々の活動を紹介します

【問い合わせ】教育課生涯学習係 ☎(83)7021

### スポーツ推進委員

◆率先垂範で◆

長い間「体育指導委員」という名称が使われてきましたが、近年、スポーツの実技指導の他に、スポーツ実施に伴う連絡調整、いわゆる「コーディネート」としての役割が求められる「スポーツ推進委員」という名称に変更になりました。

本町は、武尾哲治会長、小澤敦子副会長を中心に総勢9人のメンバーで活動しています。

活動のモットーは、「率先垂範」(人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと)で、スポーツ推進員が積極的に取り組みスポーツ活動の普及、推進に尽力しています。



陸前高田市、横芝光町との交流から。

◆親睦スポーツ大会とまち子連の活動へ◆

町民相互の親睦を目的に町体育協会が主催している「親睦スポーツ大会」の中で、体育協会に所属する部が無い、パークゴルフ大会とインディアアカ大会を担当しています。



町長 始打式。

昨年度のパークゴルフ大会には103人、インディアカ大会には36人の参加があり盛大に開催できました。既存のスポーツだけでなく、子どもから高齢者まで取り組める軽スポーツや手軽にできるニュースポーツの普及に取り組みしていきたいと考えています。また、「松田町子ども会連絡協議会新春伝大会」でも運営のお手伝いと大人チームでの参加を行っています。

◆スポレク祭◆

昨年のスポレク祭では、町民の皆さんが自分の体力について把握する体力測定(握力、長座体前屈、障害物歩行、上体起こし、開眼片足立ち)部門を担当し、実施する予定でしたが、台風のため中止になりました。



一昨年の綱引き、力が入ります。

今年の内容などは実行委員会で決まっていくと思いますが、スポーツ推進委員は、スポレク祭の運営に全面的に協力していきたいと考えています。

◆チャレンジデー◆

昨年から取り組んでいるチャレンジデーですが、多くの町民が活動できるスポーツ活動として積極的に推進しています。今年の結果はこの紙面には間に合いませんが、勝ち負け以上に、町民が一丸となるイベントとして定着できればと考えています。



昨年の松田幼稚園の体操。

## 青少年指導員

―青少年の健全育成に頑張っています―

☆メンバー紹介☆

芹野慎司(しんじ)会長、飯山伸世(のぶよ)副会長、山岸剛史(たけふみ)副会長を中心に総勢17人のメンバーにより、地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図るため、みんなで協力し活動を行っています。



子どもが大好きなメンバーです。

士山こどもの国』で、小学校5・6年生52人の参加を得て実施しました。指導者22人の中には、松田町子ども会連絡協議会からの協力や子どもたちと年齢の近い中学生・高校生にも参加していただき、普段学校や家庭では体験できない自然の中で、地域の大人との交流が図られたと考えます。

☆ジュニアリーダーズスクール☆

5月16日(土)に小・中学生27人の参加で開催しました。プログラムは、ウォークラリーや竹串づくり、マス釣り・さばき指導、火おこしを体験しました。もうお分かりだと思えますが、釣ったマスを自分でさばき、竹串にさし、おこした火で焼いて食べるという一連の体験を行いました。仲間と協力しながら成し遂げる、達成感を味わうことができたと思います。



火おこしにチャレンジ。

☆成人式・パトロール☆

1月11日(日)に開催された松田町成人式では、受付と会場整理を担当しました。

また、昨年8月23日(土)のまつだ観光まつりでは、パトロールを実施しました。先輩の話を聞くと、一昔前は、成人式では式が始まって席に着かない、私語が多い、パトロールでも、近隣市町の中高生とのトラブルや夜中になっても帰らないなど、大変だったようです。この時代に戻らないよう、青少年指導員一同頑張っていきたいと思えます。



大人チームも頑張りました。

☆子ども会活動協力☆

1月18日(日)に開催された「松田町子ども会連絡協議会新春伝大会」に、運営のお手伝いと大人チームでの参加を行いました。



温かい雰囲気で開催されました。

☆ジュニアキャンプ☆

7月最後の金曜日と土曜日を利用して1泊2日で「ジュニアキャンプ」を行っています。今年は静岡県富士宮市にある『富



高校生のお兄さんと夕食作り。

「災害時避難行動要支援者名簿」に登録を

町では、災害が発生したときに一人での避難が困難な方を支援するために「災害時避難行動要支援者名簿」を作成しています。これは、避難など支援を必要とする方をあらかじめ登録しておく、災害時には地域全体で要支援者の避難支援、安否確認などを行うためのデータとして役立てるものです。

名簿は、町、各自主防災害や各地域の民生委員で保管し、4月末現在で302名簿の対象となるのは、町内に在住し、左記の条件のいずれかに該当される方です。

- ①ひとり暮らしなどの高齢者や身体障害者などの要配慮者
②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持する方で、障害支援区分等の認定者
③要介護(要支援)認定者
※高齢者は65歳以上です
※名簿は災害対策基本法に基づき活用されます
※②・③に該当する方で、②・③に関して認定申請手続きをされる際には、当該名簿への登録をお勧めすることになります

【問い合わせ】福祉課 福祉推進係 ☎(83)1226

図書館だより

町図書館 ☎(83)7024
開館時間：午前9時30分～午後5時
休館日：毎週月曜日、16、17、23日
寄出張所図書館 ☎(89)2126
開館時間：午前9時30分～午後4時
休館日：土、日、祝日

おはなし会 場所：図書館子どもコーナー

おはなし会 6月13日、27日(土)
(小学校低学年まで) 午前10時30分～11時
おひぎにだっこのおはなし会 6月25日(木)
(乳児) 午前11時30分～正午
親子でリトミック 6月18日(木)
(乳幼児) 午前10時～10時40分
韓国の文化に触れてみよう 6月27日(土)
(中学生以上、一般) 午前10時～正午

新着図書

～毎週木曜日から貸し出しています～
ホームページから確認できます!

- (書名) (著者名)
●一般書
「人はなぜ、『そっち』を選んだのか」 内藤 諒人
「樹海」 鈴木 光司
「ブックのいた街」 関口 尚
「田園発着行き自転車」上・下 宮本 輝
「毎日の日本」英語で話す、まるごとJAPAN VADAMA,J.M
「こころ美しく京のお寺で修業体験」 宿坊研究会

児童書

「ちっちゃなサリーはみていたよ」 クリスマン・ロビンソン
「菓のはなし」くふういっばいのいきもの家 シルビア・ロング
「こねこがいっばいにやんにやんにやん」 D・ウォーカー
-----ここに載せたものは新着図書の一部です-----

リサイクル棚

貸出終了となった館内本、雑誌、寄贈本などが並びます。一人5冊まで持ち帰りできます。

本の寄贈

新刊本、郷土資料のご提供をお願いします。

西平畑公園

※悪天候などで休園になることがあるのでご了承ください
連絡先：観光経済課 公園係 ☎(83)1228
開園時間：午前9時～午後5時
休園日：1、22、29日

子どもの館 ☎(82)9869 FAX(20)4693

開館時間：午前9時～午後4時
休館日：1、2、22、23、29、30日

大人も子どもも伝承遊びで脳トレ「わらべ歌」

日時 6月6日(土) 午前10時～11時
対象 幼児・保護者、小・中学生、一般
持ち物 タオル、飲み物
申し込み 前日までに子どもの館へ(電話かFAX)
講師 NPO法人 わらべうた協会理事長 田村洋子先生
会場 町民文化センター 3階 和室

楽しい広場「新聞紙でつくるちぎり絵」

日時 6月7日(日) 午前10時～正午
対象 幼児・保護者、小・中学生、一般
申し込み 参加自由

伝承文化教室「和太鼓教室」

日時 6月13日(土)・27日(土) 午前10時～正午
対象 幼児・保護者、小・中学生、一般
持ち物 タオル、飲み物
申し込み 6月10日(水)までに子どもの館へ(電話かFAX)

伝承文化教室「わらべうたで遊ぼう」

日時 6月18日(木) 午前10時～11時
対象 幼児・保護者、一般
持ち物 タオル、飲み物
申し込み 6月14日(日)までに子どもの館へ(電話かFAX)

たぐらが劇場「夏至のつどい」

日時 6月21日(日) 午前11時～午後2時30分
対象 幼児・保護者、小・中学生、一般
出演 あしがらの伝承と文化の会
昔話・パネルシアター 他
申し込み 参加自由

自然館 ☎(82)7345 FAX(20)4794

開館時間：午前9時～午後4時
休館日：1、2、22、23、29、30日

「農道の自然①」～中央農道の自然をゆっくり調べよう～

日時 6月7日(日)
午前9時30分～11時30分(※雨天中止)
場所 自然館
講師 自然館職員
対象 小・中学生、一般 25人
持ち物 飲み物
申し込み 前日までに自然館へ(電話かFAX)

「農道の自然②」～農道の土から宝石を探そう～

日時 6月27日(土) 午前9時30分～11時30分
場所 自然館
講師 自然館職員
対象 小・中学生、一般 25人
申し込み 前日までに自然館へ(電話かFAX)

納税

- 町県民税 6月30日(火)
税務課 町民税係 ☎(83)1224
●国民健康保険税 6月30日(火)
町民課 国保年金係 ☎(83)1225

※税金などのお支払いは、
便利な口座振替をご利用ください

保健

- ママパクラス
6月6日(土) 午前9時45分～10時
場所：山北町健康福祉センター
◎すくすく育児相談・おっぱい相談
6月2日(火) 午前9時30分～10時30分
●定例ウオーキング
6月17日(水) 午前9時30分～
集合場所：三角堤公園
◎3～4か月児健康診査
6月24日(水) 午後1時～1時15分
※時間は受付時間
◎の場所は健康福祉センター
子育て健康課 健康づくり係 ☎(84)5544

相談

- 法律相談
7月2日(木)
午前9時15分～11時45分
町役場会議室<予約制>※先着6人
予約受付期間
6月22日(月)～7月1日(水)
※詳細はおしらせ号(6月15日号)
総務課 庶務係 ☎(83)1221
●人権・行政相談
6月17日(水) 午前10時～11時30分
※時間は受付時間
町民文化センター 第2学習室
子育て健康課 子育て支援係 ☎(84)5544

編集後記

600号の特集記事を書くにあたって、過去の広報紙を調査。その時その時の様々な記事に思わず読みふけってし

まいりました。広報紙は、まさに町の歴史書。自分の広報紙もその一部であることに、責任を感しました。(T)

Table with 4 columns: Name, Age, Address, and Title. Includes names like 加藤利雄, 片岡久夫, etc.

広告

松田山ハーブガーデン info
6/6～21ハーブフェスティバル開催
レストラン「Rosemary」は夜間貸切予約受付中
大パノラマBBQの予約受付中!!!

6月9日(火)・10日(水)開催

### 松田ちよい呑みフェスティバル

昨年、大好評を博しました松田ちよい呑みフェスティバルを今年も開催します。ロマンス通り商店会、仲町商店街、ファミリー通り商店会の気になるお店をお得に楽しんでみませんか？

**ちよい呑み券を 参加店舗でゲット！**

ちよい呑み券とは  
2,500円でドリンク（アルコールなど）1杯とお料理1品の提供を商店街の参加店舗から3軒選んで受けられるお得な券  
※参加店舗は、チラシ及びホームページでご確認ください。

【問い合わせ】足柄上商工会 ☎(83)3211



### 春のハーブフェスティバル

今年もハーブフェスティバルの季節がやってきました。ハーブ館では、今年も色とりどりのハーブが皆さんをお待ちしています。

期間中JR松田駅、開成あじさい祭会場とのシャトルバスが運行されます。ぜひ、この時期の足柄花めぐりをお楽しみください。

**開催期間 6月6日(土)～21日(日)**

**体験工房イベント**  
すべて午後1時15分～2時45分

- ◆ハーブリースづくり 6月6日(土)、13日(土) 体験料：1000円 各10人
- ◆香りの花束 タッジーマジジー 6月7日(日)、14日(日) 体験料：1000円 各10人
- ◆ラベンダースティックづくり 6月20日(土)、21日(日) 体験料：1000円 各10人

※ラベンダーの咲き状況により日程が変更となる場合があります

◆ラベンダークイズ 6月6日(土)～21日(日) いつでもできるガーデンクイズ

【問い合わせ】  
松田山ハーブガーデン ☎(85)1177  
観光経済課公園係 ☎(83)1228



## カメラリポート



子どもたちや第一分団員たちが、贈られる消防自動車の前で記念撮影。

### タンザニアへ消防自動車を贈呈しました



集まった子どもたちが、タンザニアへ手紙や絵を書きました。

本紙2月号でお知らせしたとおり、今まで松田町消防第一分団で使用していた消防ポンプ自動車を、アフリカのタンザニアへ贈りました。

式典は5月9日(土)に行い、消防ポンプ自動車と一緒に、子どもたち18人が書いた、手紙や絵が贈られました。

### 人権擁護委員



5月13日(水)、役場を訪れ、本山町長(写真左)に報告をされた高橋さん。

町の人権擁護委員として2年間、うち2年間は、西湘・二宮地区の人権擁護委員協議会の会長も務められた高橋征一さん(谷津自治会)へ、その功績が認められ、法務大臣より感謝状が贈られました。

### 第38回寄自然休養村若葉まつり



本山町長から北川大介さんに松田町ふるさと大使の名刺を贈呈しました。



酒匂川健康ふれあい広場で実施されました。

5月9日(土)、ポンプ性能検査と消防礼式訓練が行われました。

礼式訓練で、新分団長は、指揮訓練を、若い団員たちは、敬礼や回れ右などの基本動作の指導を小田原市消防の隊員から、受けました。

### 礼式訓練

### 水害・土砂災害避難訓練



5月24日(日)、町内全域を対象に水害・土砂災害避難訓練が行われました。

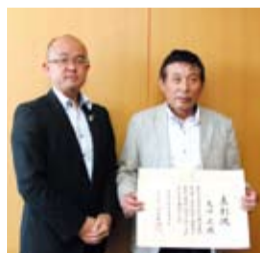
訓練を行うことにより、避難態勢の確認や、住民皆さんの防災意識の向上が図られました。



多くの子どもたちで賑わったマスのつかみ取り大会の様子。

5月5日(火)祝に開催された若葉まつりは天気に恵まれ、約8500人の来場がありました。

まつりでは、様々なステージ



5月14日(木)、役場を訪れ、本山町長(写真左)に表彰の報告をされた矢口さん。

多年にわたり戦没者の慰霊と遺族援護を積極的に推進し、福祉の向上に尽くしたことにより、矢口武さん(中沢自治会)が、神奈川県知事より表彰されました。

### 戦没者遺族会



4月16日(木)、町長と教育委員の計6人で構成する「松田町総合教育会議」を開催しました。

### 総合教育会議

これは、法改正により設置された第1回目の会議で、さまざまな意見が交わされました。



5月17日(日)、河川清掃作業が行われ、551人(子ども83人、大人468人)が参加しました。集められたゴミは全部で820kg(可燃ゴミ550kg、不燃ゴミ270kg)でした。

参加された皆さん、お疲れ様でした。

### 酒匂川クリーンキャンペーン